



2026年5月15日

各位

会社名 富士ダイス株式会社
代表者名 代表取締役社長 春田善和
(コード番号: 6167 プライム市場)
問合せ先 取締役業務本部長 高安真生
(TEL. 03-3759-7182)

ダイジェット工業株式会社との 業務提携の検討開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、ダイジェット工業株式会社（以下「ダイジェット工業」という）との間におきまして、重要鉱物であるタングステンとコバルトの使用量を削減した合金に関する業務提携（以下「本提携」という）の検討を開始することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本提携の検討開始の目的

当社とダイジェット工業は、それぞれ超硬工具・金型の製造販売を手掛け、ともに4分の3世紀以上の長きに亘って世界のものづくりを支えてまいりました。しかしながら、昨今報道されているとおり、超硬合金の主原料であるタングstenは中国政府による重要鉱物の輸出規制強化の影響を受け、需給や価格に影響が及びやすい状況が続いており、業界を取り巻く環境は不透明さを増しております。

当社では、昨年2月4日の中国によるタングstenを含む重要鉱物の輸出管理に関する公告の発表以来、お取引先様に向けて超硬耐摩耗工具・金型を安定供給し続けられるよう、社内体制を整えて対応するとともに、昨年10月より超硬耐摩耗工具・金型のリサイクル事業を立ち上げ、限りある重要鉱物を有効活用する取り組みを進めております。

また、当社がかねてより、地政学的リスクが懸念されるタングstenとコバルトを極力減らした合金を作るというコンセプトで新合金の開発に取り組んでおり、2023年3月に【サステロイ ST60】を開発・販売し、昨年10月には、より耐摩耗性を向上させた【サステロイ STN30】を開発・販売を開始しました。

このように対応を進める中で、地政学的リスクの低減は当社のみならず、業界全体の課題であるところと見え、当社と同様にタングstenとコバルトを含まない合金【サーメタル】を開発しているダイジェット工業との間で業務提携の検討を開始することといたしました。本提携により、互いの強みとリソースを最大限に活用することで、地政学的リスクの低減と収益拡大を図り、相互の企業価値向上を目指します。

2. 本提携の検討内容

当社とダイジェット工業は、各々が開発した重要鉱物であるタングstenとコバルトの使用量を削減した合金に関して、両社の販売ネットワークを活用した販路拡大に向けた検討を開始する予定です。

3. 本提携の相手先の概要

(1) 名 称	ダイジェット工業株式会社
(2) 所 在 地	大阪府大阪市平野区加美東2丁目1番18号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 生悦住 歩
(4) 事業内容	超硬合金、超硬工具の製造販売
(5) 資本金	30億9919万円
(6) 設立年月日	1950年12月(百年工業株式会社)、1954年6月(ダイジェット工業株式会社に社名変更)

4. 今後の見通し

本提携による2027年3月期の当社業績への影響については、今後の提携検討の進捗に応じて、適時開示基準に則り、適時適切に開示いたします。

以 上